

平成 24 年度

(第 1 事業年度)

事業報告

平成 24 年 4 月 1 日から

平成 25 年 3 月 31 日まで

公益財団法人ソルフェージュスクール

「平成 24 年度事業報告」目次

要旨	1
----	---

《事業活動》

ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業 1）

1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営

（1）ソルフェージュに関する研究および指導者育成

①研究発表会

【ソルフェージュスクール演奏会】	2
------------------	---

【前・後期おさらい会】	3
-------------	---

【夏のコンサート】	3
-----------	---

②講習会（研究会、試演会）

【研究会】	4
-------	---

【試演会】	4
-------	---

③音楽会

【春のコンサート】	4
-----------	---

【クリスマスコンサート】	6
--------------	---

（2）各種楽器・声楽等の実技指導及び普及

【週 1 回のレッスン及び年数回の特別講習】	6
------------------------	---

【春のミュージックキャンプ】	7
----------------	---

【夏季合宿】	7
--------	---

【初見大会】	9
--------	---

【ゲスト演奏家を交えた演奏会】	9
-----------------	---

（3）海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流

（4）資料収集、出版物刊行及びホームページの充実

2. 音楽ホール、練習室の貸与

3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、講演会開催

《管理部門》

1. 法人としての諸会議

2. 公益財団法人への移行及びその情報公開

3. 業務執行体制の整備と強化

附属明細書について

要旨

公益財団法人としての初年度を迎え、公益財団法人ソルフェージュスクールとしての態勢を充実させようとしていた半ばに、吉村多喜子理事長が突然逝去するという悲運に見舞われた。しかし、植村泰一新理事長のもと、役員及び職員一同が、この法人の設立者である故吉村多喜子氏の遺志を継ぎ、なお一層ソルフェージュスクールを発展させていく決意を新たにして臨んだ年度であった。

わが国の音楽文化の発展に寄与していくために、ソルフェージュに対する一般の理解を深め、ソルフェージュによる音楽指導及び普及を行うために、役員及び職員が一丸となって、最大限の努力を尽くした平成 24 年度の活動の概況を報告する。

《 事業活動 》

ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業 1）

1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営

当財団の運営するソルフェージュスクールにおいて下記の事業を行った。

（1）ソルフェージュに関する研究及び指導者育成

ソルフェージュの研究の促進及び指導者育成を目的として研究者、指導者及びこれから研究、指導を目指す者、また関心のある一般を対象とした研究発表会、講習会、音楽会等を開催した。いずれも一般に公開した。なお、これら事業内容の具体的な実施の詳細については、毎月の運営委員会で決定されている。

① 研究発表会 = 無料

いずれの研究発表会も日常の指導法研究の成果を確認することができた。

【ソルフェージュスクール演奏会 6月24日（日） 日本橋公会堂】

ソルフェージュスクールの受講生全員が、リトミック、室内楽、器楽合奏、弦楽合奏、合唱等のいずれかに出演する、外部のホールで催す年1回の定期演奏会。来場者がスクールの教育を大観し、ソルフェージュの教育を理解する重要な機会として位置づけている。

年1回、通常は異なる日に受講しているソルフェージュスクールの受講生が一堂に集まり、数回の合同練習を通して普段学習しているソルフェージュスクールでの成果がいかにかに活かされるかを体感し、また聴衆前で発表するというプロセスを学んだ。幼児のソルフェージュ及びリトミッククラスのデモンストレーションもあり、これらを一般公開してソルフェージュスクールの教育のあり方を提示した。

<プログラム>

1. ピアノ連弾

- A 小鳥の歌（田中雅明） バスカーブラウン（バラット）（受講生2名）
- B 歌曲「君を思いて」による主題と六つの変奏曲（ベートーヴェン）（受講生2名）

2. 室内楽

- A 3つのヴァイオリンのための音楽（モーツァルト）（受講生3名）
- B 弦楽四重奏曲ニ長調 第1楽章 アルゲロ（ボロディン）（受講生4名）

3. リトミック A組（受講生13名） B組（受講生4名）

うた（受講生22名） ドレミの歌（ハマースタイン/ロジャース作曲） パン屋さんと金魚（野村胡堂/宅孝二作曲）

4. 器楽合奏 おもちゃの交響曲（L.モーツァルト）（受講生43名）

ソプラノリコーダー（5名）、アルトリコーダー（4名）、テナーリコーダー（1名）、フルート（2名）、クラリネット（3名）、おもちゃの楽器とパーカッション（11名）、ピアノ（1名）、ヴァイオリン（13名）、チェロ（1名）、コントラバス（2名）

5. 弦楽合奏 組曲「ホルベアの時代」より 前奏曲（グリーク）（受講生15名）

1stヴァイオリン（4名）、2ndヴァイオリン（4名）、ヴィオラ（3名）、チェロ（2名）、コントラバス（2名）

6. 合唱 鳥の歌（ジャヌカン） 器楽合奏出演者（43名）及びコーラス受講生及びOB父兄（21名）

【前・後期おさらい会】

器楽、声楽を学んでいる受講生(主に個人レッスン)は少なくとも年一回は人前で演奏披露することで、普段とは違う学習と練習を体験する大切な場であり、また生徒同士、父兄、教師にとっては個人レッスンの進捗状況を知る良い機会である。

10月と3月の二期に分けて開いた、器楽、声楽を学ぶソルフェージュスクールの受講生の発表会。一般公開し、本校での教育の特徴を見てもらった。

(前期)	10月14日(日)	当財団3階ホール	32名出演
(後期)	3月20日(水・祝)	当財団3階ホール	14名出演

【夏のコンサート 8月12日(日) 軽井沢ハーモニーハウス】

毎年8月に4泊5日で行う夏季合宿の成果を参加者全員で発表するコンサートである。

5日間の合宿でアンサンブルの研鑽を積んだそれぞれのグループが、研鑽の成果を一つの音楽会としてのプログラムにまとめ、日常の指導法研究の成果を確認し、コンサートとして一般に公開演奏し、好評を博した。

■軽井沢合宿ミニコンサート 8月12日(日) 15時開演 軽井沢ハーモニーハウス

〔プログラム〕

1	モーツァルト	弦楽四重奏曲 ハ長調	2Vn Va Vc
2	ハイドン	アンダンテ	Fl Vn Pf
3	ボアモルティエ	リゴードン	Vn Vc
4	モーツァルト	ディヴェルティメント 変ロ長調	Fl Cl Pf
5	ドヴォルザーク	テルツェット	2Vn Va
6	J.C. バッハ	グラツィオーソ	2Fl Pf
7	シューベルト	メヌエット	Fl Vn Pf
8	モーツァルト	ピアノ四重奏曲 変ホ長調	Pf Vn Va Vc
9	ロッシーニ	弦楽のためのソナタ 1番	2Vn Vc Cb
10	草川信 七瀬あゆこ編曲	ゆりかごのうた	フルート奏者全員
11	マスネ	タイースの瞑想曲	Vn Pf
12	モーツァルト	ディヴェルティメント 変ホ長調	Fl Vn Pf
13	ハイドン	ピアノ三重奏曲 ト長調	Fl Vc Pf
14	モーツァルト	クラリネット五重奏曲 イ長調	Cl 2Vn Va Vc
15	ヘンデル	コンチェルト グロツ Op. 6-1	弦楽器奏者全員

② 講習会（研究会、試演会）＝無料

【研究会 5月25日（金） 当財団3階ホール及び教室】

ソルフェージュ、器楽の教授方法、教本の使い方や生徒への対応の仕方など、時々テーマを設けて講師一同及び参加者が意見の交換をしてレッスンの質の向上を目指すための研究会である。

今回の研究会では、フランス語の歌詞の発音について勉強をした。（参加者 8名）

【試演会 11月23日（金・祝） 当財団3階ホール】

講師有志等の独奏或いはアンサンブルによる演奏を聴き合い、日頃教える立場にある者がお互いに具体例をもって意見を述べ合うことで良い研修の機会とするものである。

今回の試演会は4組の参加で、それぞれの先生方がいま研究している曲、挑戦したい曲を取り上げた。水野、込山2講師の聴講参加があった。

（演奏内容） プログラム

1. クロード・ドビュッシー／ベルガマスク組曲より 3.月の光	Pf.	横井 彩
2. フランツ・シューベルト／ソナチネ g-mollより 第1、2、4楽章	Cl.	古澤 裕治
	Pf.	古澤 恭子
3. フレデリック・ショパン／チェロ・ソナタ 第3楽章 ラルゴ	Vc.	吉村 隆子
	Pf.	横井 彩
4. ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン／ロマンス 第2番	Vn.	妹尾 美紀子
	Pf.	大村 明子

音が良くて気持ちよく、自然体の音楽で、呼吸の自由なアンサンブルが聴けた、合わせを重ねて当日が一番良かった等、総合的に音の美しさ、アンサンブルの良さが評価された。

ホールで演奏をした後、講師室に移り、呼吸について、脱力について、楽器で歌うにはどうしたらいいかなど自由な話題が話し合われ、実りのある研修となった。

③ 音楽会＝有料

音楽はソロだけではなく合奏の楽しさを味わい、音楽の喜びを得るというソルフェージュスクールの目標のひとつを、ソルフェージュスクールの講師が自らの演奏により、より多くの方へ伝えるためのコンサートである。4月と12月に講師及びゲスト演奏家を交えて開いた演奏会。

【春のコンサート 4月29日（日） 午後2時開演 当財団3階ホール】（有料入場者 58名）

ゲストにバリトン歌手の西原匡紀氏を迎え、当スクール講師の江原陽子とのデュエットが華やかさを演出し、春にふさわしく、明るい雰囲気、入場者全員が音楽の楽しさを満喫する演奏会だった。

<プログラム>

ローラ：2 台のヴァイオリンとヴィオラの為のトリオ

1. Largo, sostenuto assai
2. Rondo, allegretto
3. Sostenuto assai
4. Tedesca, presto
5. Allegretto

ビゼー：子供の遊び op. 22 より

1. ぶらんこ（夢想）
2. こま（即興曲）
3. お人形（子守歌）
4. 回転木馬（スケルツォ）
6. ラッパと太鼓（行進曲）
9. 目隠し鬼（夜想曲）
10. 馬とび（奇想曲）
11. 小さな旦那さまと小さな奥さま（二重奏）
12. 舞踏会（ガロップ）

スタンフォード：ファンタジー第 1 番クラリネットと弦楽四重奏のための

1. Allegro moderato (all mercia)
2. Andante
3. Allegro

ダマレ：森のこだま op. 220

シューベルト：歌曲集『白鳥の歌』 より

1. Liebesbotschaft（愛の使い）
4. Ständchen（セレナード）
5. Aufenthalt（我が憩いの場）
14. Die Taubenpost（鳩の便り）

シューマン：二重唱曲

1. Ich bin dein Baum（私はあなたの樹）
2. Tanzlied（踊りの歌）
3. Ich denke dein（私はあなたを想う）
4. Liebhabersständchen（求愛者のセレナード）

(ゲスト演奏家)

西原匡紀 B. Bar（歌：バリトン）

東京教育大学（現、筑波大学）文学部英米文学科を卒業後、東京藝術大学音楽学部声楽科を経て、同大学院音楽研究科を修了。声楽を故磯谷威氏、シドニーで R. ビッカースタッフ、ロンドンで故 E. サラマン、ウィーンで S. デニス各氏に師事。平成 18 年 3 月まで埼玉大学教授。

翻訳書に J. アードイン著：「マリアカラス、オペラの歌い方」、E. サラマン著：「声楽のコツ」（音楽之友社）など。元ソルフェージュスクール講師。

(演奏講師)

糸井みちよ Vn（ヴァイオリン）	東京芸術大学卒業 千葉大学講師 本校出身
江原陽子 Sop（歌：ソプラノ）	東京芸術大学卒業 本校出身
込山今日子 Pf（ピアノ）	桐朋学園大学短期大学部卒業
妹尾美紀子 Vn（ヴァイオリン）	桐朋学園大学卒業
林さち子 Pf（ピアノ）	オペリン大学卒業 インディアナ大学大学院修士課程修了 本校出身
林徹也 Va（ヴィオラ）	愛知県立芸術大学で学んだ後アメリカ、ドイツに留学 1977～2008年・シュトゥットガルト室内管弦楽団首席 ヴィオラ奏者 本校出身
古澤裕治 Cl（クラリネット）	桐朋学園大学及びルーアン音楽院卒業
山崎孝子 Picc（ピッコロ）	東京音楽大学卒業
横井彩 Pf（ピアノ）	東京音楽大学卒業
吉村隆子 Vc（チェロ）	George Neikrug に師事 ポストン大学、ベルリン留学 本校出身

【クリスマスコンサート 12月16日(日) 午後2時開演 当財団3階ホール】(有料入場者48名)

クリスマスにふさわしい曲目の演奏で、入場者を楽しませると共に、心の豊かさをもたらす音楽の大切さを改めて感じさせるものとなった。

＜プログラム＞

ドヴォルザーク／弦楽セレナーデ Op. 22 より
フォーレ／エレジー
シューベルト／岩の上の羊飼い
モーツァルト／Ave Verum Corpus 他

(演奏者)

江原陽子 Sop (歌: ソプラノ) 込山今日子 Pf (ピアノ) 林さち子 Pf (ピアノ)
林徹也 Va (ヴィオラ) 古澤裕治 Cl (クラリネット)
大村明子 Pf (ピアノ) 東京芸術大学卒業 元フェリス女学院大学音楽学部講師
コーラスクラス (14名)、ソルフェージュスクール室内合奏団 (10名)

(2) 各種楽器・声楽等の実技指導及び普及 4歳以上幼児から成人対象・有料

当財団が開発したソルフェージュットやリズムカード及び以前フランスで使われていた教本を翻訳・復元した教材等を用い、ソルフェージュスクールカリキュラムに沿って、具体的にリズム・拍・音程を習得させ、読譜力・視唱力・聴音力を身に付けさせた。それに器楽、声楽等の実技指導及び年数回の特別講習会を加え、音楽文化の理解を深めさせつつ実技を習得させた。

【週1回のレッスン及び年数回の特別講習】

1学期 4月10日(火)～7月21日(土)
2学期 9月5日(水)～12月22日(土)
3学期 1月9日(水)～3月23日(土)
特別講習 9月1日(土)及び9月2日(日)

(受講生数) 4月(92名) 5月(95名) 6月(97名) 7月(94名)
8月(94名) 9月(96名) 10月(99名) 11月(104名)
12月(103名) 1月(102名) 2月(101名) 3月(103名)

* レッスン及び特別講習の曜日、時間は月曜日を除く週6日の中から受講者と講師が相談して決めた。受講費は別途入室案内に公開している。

【春のミュージックキャンプ】＝受講生及び一般対象・有料

3月31日(土)、4月1日(日)2日間 当財団3階ホール及び教室

普段の個人レッスンではなかなか取り組めないアンサンブルの経験を積むための2日間の講座。受講生で組まれた様々なグループで曲を勉強し、二日目の最後に発表会コンサートを開催した。

(受講生) 14名

(講習曲目)

ピアノ4重奏 Mozart、ヴァイオリン2重奏 Mozart、ヴァイオリン3重奏、木管3重奏、連弾 Beethoven、弦楽4重奏 Beethoven、小品集 Grieg、トリオソナタ Quantz、組曲 Hotteterre、ソナチネ Schubert 全員合奏、レッスン、初見等

(指導講師) 吉村隆子、込山今日子、糸井みちよ、林徹也、山崎孝子
古澤裕治、林さち子

ミュージックキャンプ発表会 2012年4月1日 15:00～ 当財団3階ホール

1	合奏協奏曲 Op.6-4 第1楽章	ヘンデル	弦楽合奏
2	「君を思いて」による変奏曲	ベートーヴェン	受講生2名
3	二重奏曲	モーツァルト	受講生2名
4	ソナチネ ト短調 第1楽章	シューベルト	受講生2名
5	「3つの舞曲」より ダンス、パレエ、クーラント	ポイエル	受講生2名 古澤、山崎講師
6	3つのヴァイオリンのための組曲より	テレマン	受講生2名 林講師
7	ピアノ四重奏曲 ト短調 第1楽章	モーツァルト	受講生4名
8	組曲 ホ短調 - プレリユード、 サラバンド、ジーク	オットテール	受講生2名 山崎講師
9	トリオソナタ ハ長調 第1楽章	クヴァンツ	受講生3名
10	「小品集」より ノルウェー民謡、 エロティコン、子守歌	グリーグ	受講生2名
11	弦楽四重奏 Op.18-2 第1楽章	ベートーヴェン	受講生3名 林講師

【夏季合宿】＝一般対象・有料

8月9日(木)～8月13日(月)4泊5日 軽井沢ハーモニーハウス

ソルフェージュスクール創立以来開催しているサマーキャンプは、中学生以上の受講者と講師陣との緊密なコミュニケーションのもとに行われる室内楽の短期集中セミナーであるのが特徴で、春のミュージックキャンプより一層深く曲に取り組み、演奏発表を目標にして、2人のアンサンブルから全員による合奏まで様々な形の曲を勉強した。また食事作りの手伝い、後片付け、宿舎の掃除など生活面の仕事を皆で行うことで親密な雰囲気を作り、音楽の勉強に留まらず、相手への思い遣りなど、アンサンブル、合奏に不可欠な要素を共同生活の中で自然に身に付けられるようにプログラムを組んだ。

■講師陣

- ・弦楽指導 林徹也(元シュトゥットガルト室内管弦楽団首席ヴィオラ)
糸井みちよ(Vn), 妹尾美紀子(Vn), 吉村隆子(Vc)
- ・管楽指導 山崎孝子(F1), 古澤裕治(C1)
- ・ピアノ指導 込山今日子, 林さち子, 横井彩

■カリキュラム

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
8/ 9(木)	11時集合 大宮より新幹線で軽井沢へ					開校式		レッスン			夕食	自由練習				
8/10(金) ~11(土)	朝食	レッスン			昼食	自由時間	レッスン				夕食	自由練習 ゲーム大会				
8/12(日)	朝食	レッスン			昼食	ゲネプロ		発表コンサート			バーベキューパーティ					
8/13(月)	朝食	清掃, レクリエーション, 昼食, アンサンブルなど						新幹線で帰京・解散								

■内容

同じレベルの受講生によるクラスを編成し、クラスごとに1時間単位のレッスンを3~4回行った。

弦楽四重奏、ピアノ三重奏、フルート四重奏、連弾などの小編成のアンサンブルに加え、弦楽合奏、協奏曲、管楽アンサンブル、リコーダーアンサンブルなど大編成のものまで幅広く指導し多様な経験をさせた。(受講生 15 名)

(練習曲目)

- グラツィオーソ (バッハ) : 2F1&Pf タイースの瞑想曲 (マスネ) : Vn&Pf
- リゴードン (ボアモルティエ) : Vn&Vc
- 2つのディヴェルティメント (モーツアルト) : F1, Vn&Pf
- アンダンテ (ハイドン) : F1, Vn&Pf メヌエット (シューベルト) : F1, Vn&Pf
- ピアノ三重奏曲ト長調 (ハイドン) : F1, Vc&Pf
- テルツェット (ドヴォルザーク) : 2Vn&Va ソナタ1番 (ロッシーニ) : 2Vn, Vc&Cb
- ピアノ四重奏曲変ホ長調 (モーツアルト) : Pf, Vn, Va&Vc
- 弦楽四重奏曲ヘ長調 (モーツアルト) : 2Vn, Va&Vc
- クラリネット五重奏曲 (モーツアルト) : C1, 2Vn, Va&Vc
- コンチェルトグロッソ (ヘンデル) : 弦楽合奏
- フルートアンサンブルゆりかごのうた : F1 全員 ピアノ初見 : Pf
- リコーダーアンサンブル : リコーダー全員

(指導講師) 吉村隆子、横井彩、林徹也、山崎孝子、妹尾美紀子
古澤裕治、大村明子

■軽井沢合宿ミニコンサート 8月12日(日)15時開演 軽井沢ハーモニーハウス (無料)
軽井沢滞在中の一般の方々に合宿の成果を披露した。*1.(1)①[夏のコンサート]参照

【初見大会】＝一般対象・有料

小3以上を対象とし、初見で演奏する力を養うためのアンサンブルによる1日の講座で7月と12月の2回開催した。個々の参加者の実力に合わせて無理なく楽しく初見の体験を積むように指導者が導き、複数回の受講経験者に見られる進歩には顕著なものがあつた。

＜夏季 7月15日（日・祝） 当財団3階ホール及び教室＞
受講生：6名
指導講師：込山今日子,妹尾美紀子,林徹也,吉村隆子

＜冬季 12月23日（日・祝） 当財団3階ホール及び教室＞
受講生：11名
指導講師：糸井みちよ,妹尾美紀子,古澤裕治,山崎孝子,横井彩,吉村隆子

【ゲスト演奏家を交えた演奏会】＝ソルフェージュスクール関係者及び一般対象

当スクールが創立時から連綿と続けているソルフェージュによる音楽教育の主旨を咀嚼し、その成果を一般に広く紹介し、ソルフェージュに対する一般のさらなる理解とソルフェージュによる音楽指導及び普及の促進を図るために演奏会の開催を予定したが、出演者及び会場の調整ができず次年度の開催を目指すこととした。

(3) 海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流＝一般対象

出演者及び会場の調整ができず次年度の開催を目指すこととした。

(4) 資料収集、出版物刊行及びホームページの充実

ソルフェージュ教育に必要な図書、楽譜、楽器を購入すると共にソルフェージュの普及のため研究成果及び教育内容などの出版を行う。また授業についてはホームページに掲載する。ホームページの内容充実と更新を継続して行う。

① ソルフェージュ教育に必要な図書、楽譜等の購入

下記の図書、楽譜等を購入した。

- (購入楽譜) 10 Celebrated String Quqrts (1冊)
13 Early String Quartets Volume 1-Nos.1-4 (1冊)
13 Early String Quartets Volume 2-Nos.5-7 (1冊)
Die zehn berühmten Streichquartetts Urtext der (1冊)
音楽のおと (20冊)
ソナチネアルバム (1冊)
全訳ハノンピアノ教本 (2冊)

ブルグミュラー25番の練習曲(1冊)
小プレリュード 小フーガ (1冊)
子供のためのアルバム (ギロック) (1冊)
バーナム導入書 (6冊)
バーナム ピアノテクニックⅡ (2冊)
グローバー ピアノ教本導入書 (6冊)
グローバー ピアノ教本Ⅰ (8冊)
グローバー ピアノ教本Ⅱ (2冊)
ラーニングトゥプレイⅢ (2冊)
鈴木指導曲集2 (2冊)
ホームマン教則本Ⅱ (2冊)
ホームマン教則本Ⅳ (2冊)
String Builder BookⅠ (2冊)

② 機関誌「ソルフェージュスクール新聞」の発行

ソルフェージュスクールの年間の事業等の記録を一般に紹介するために、3月に800部発行し、受講生、賛助会員、寄付者及び一般に無料配布した。

③ソルフェージュ指導楽譜の発行（教材として使用し、一般に実費配布）

下記の指導楽譜を発行し実費販売した。(合計 8件)

シャセバン1 ¥525- シャセバン2 ¥420- シャセバン3 ¥420-

④ ソルフェージュ教育の理念を著した冊子の発行（一般に実費配布）

当財団の設立者たちがソルフェージュ教育の理念について書き残した文書を冊子として発行し、一般への普及を図るために、文書類の整理を昨年度に引き続き行った。

⑤ ホームページの充実

ホームページを通じて、幼児、子どものみならず成人とくに年配者に対して、いつからでも音楽を学ぶことはできること、音楽を通して人間として豊かな心を育むことができることを強く訴えるため、そして、日本の音楽文化を持続させ発展させていく人材を増やしていくために、ホームページの内容の充実及び適切な更新を図った。

役員名簿、定款、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程、平成23年度事業報告書及び収支計算書・貸借対照表他並びに平成24年度事業計画書及び収支予算書を公開している。

⑥ 他のデータシステムとの連携

NOPODAS（非営利法人データシステム）、文部科学省関係法人名鑑及び音楽教育関連データシステム等に登録をして当財団の周知向上を図った。

2. 音楽ホール、練習室の貸与

当財団の所有するホール及びピアノの設置された教室（練習室）を、当財団が使用していない時間に、当財団の事業及び公益目的に合致する者に低廉な対価で貸与した。（総貸与件数 72 件）

* 随時受付、費用は別途料金表に公開している。

3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、講演会開催＝一般対象・原則として無料

【合奏及び室内楽演奏法】 原則として月 1 回 当財団 3 階ホール

室内楽授業を、原則として月 1 回、一般に無料聴講できるように公開し、合奏及び室内楽の演奏法を習得してもらうと同時にソルフェージュ教育の成果を実感してもらった。

実施月： 4 月、5 月、6 月、7 月、9 月、10 月、11 月、12 月、1 月、2 月、3 月

指導講師： 林徹也（元シュトゥットガルト室内管弦楽団首席ヴィオラ）

【夏季講習・講演会】

今年度の開催は講師及び会場の手配・調整が整わないため行わず、来年度の企画として継続協議した。

《 管理部門 》

1. 法人としての諸会議

平成 24 年 4 月 6 日

- ・平成 24 年度（第 1 回）臨時理事会

開催方法	通常招集
開催場所	当財団 2 階会議室
決議事項	臨時評議員会召集の件
報告事項	新理事候補の紹介
出席等	決議に必要な理事の数 3 名、理事出席 5 名、監事出席 2 名

平成 24 年 4 月 6 日

- ・平成 24 年度（第 1 回）臨時評議員会

開催方法	招集手続きを省略して理事長が召集
開催場所	当財団 2 階会議室
決議事項	新理事の選任の件
報告事項	森内俊雄評議員の辞任申出、「評議員会運営規則」制定の検討について
出席等	決議に必要な評議員の数 3 名、評議員出席 4 名、欠席 2 名、監事出席 2 名、理事出席 5 名

平成 24 年 5 月 11 日

- ・決算監査

開催場所	当財団 2 階会議室
出席等	監事出席 2 名

平成 24 年 5 月 14 日

- ・平成 24 年度第 1 回通常理事会

開催方法	通常招集
開催場所	当財団 2 階会議室
決議事項	平成 23 年度事業報告書及び収支決算書の承認、平成 24 年度事業計画書及び収支予算書の追認、定時評議員会の招集、定款で定める規則等（「寄附金等取扱規程」、「経理規程」、「理事会運営規則」、「職務権限規程」、「事務処理規則」、「役員等の旅費細則」、「事務職員職務遂行規則」、「パートタイム事務職従業員就業規則」、「講師職務規程」及び「講師給与及び報酬規程」）の決議
報告事項	代表理事及び業務執行理事から業務執行状況の報告、新評議員候補の紹介、「監事監査規程」制定、「資産管理運用規則」、「委員会規程」、「賛助会規程」、及び「情報公開規程」各案の提示及び検討依頼
出席等	決議に必要な理事の数 3 名、理事出席 5 名、欠席 1 名、監事出席 2 名

平成 24 年 5 月 29 日

・平成 24 年度定時評議員会

開催方法	通常招集
開催場所	当財団 3 階ホール
決議事項	平成 23 年度事業報告書及び収支決算書の承認、役員（理事及び監事）の選任、森内評議員の辞任承認及び新候補者の選任、「評議員会運営規則」の議決
報告事項	「監事監査規程」の制定、諸規程・規則制定の報告、平成 23 年度事業報告書及び収支決算書を旧主務官庁・文部科学省へ提出の件、平成 24 年度事業計画書及び収支予算書追認の件
出席等	決議に必要な評議員の数 3 名、評議員出席 4 名、欠席 2 名、監事出席 2 名、理事出席 5 名、欠席 1 名

平成 24 年 5 月 29 日

・平成 24 年度（第 2 回）臨時理事会

開催方法	決議の省略の方法
開催場所	当財団 3 階ホール
決議事項	代表理事及び業務執行理事の選任、「資産管理運営規則」、「委員会規程」、「賛助員に関する規程」及び「情報公開規程」の承認、
報告事項	平成 23 年度事業報告書及び収支決算書を旧主務官庁・文部科学省へ提出の件出席等 決議に必要な理事の数 3 名、理事出席 6 名、監事出席 2 名、評議員同席 2 名

平成 24 年 9 月 14 日

・平成 24 年（第 3 回）臨時理事会

開催方法	招集手続きを省略して理事長が召集
開催場所	当財団 2 階会議室
決議事項	代表理事及び業務執行理事の選任、償還期限を迎える基本財産・国債の取り扱いの件、公益財団法人公益法人協会への寄付の件
報告事項	来年度の雇用契約について、故吉村多喜子先生を偲ぶ会について、運営委員会を構成する理事の補強について、評議員及び役員全員が定款、諸規程類及び会議録を確認する方法について
出席等	決議に必要な理事の数 3 名、理事出席 5 名、欠席 1 名、監事出席 2 名、評議員同席 3 名

平成 24 年 11 月 30 日

・平成 24 年度（第 4 回）臨時理事会

開催方法	通常招集
開催場所	当財団 3 階ホール
決議事項	償還期限を迎える基本財産・外国債券の取り扱いの件、規則、規程類の改正の件
報告事項	ソルフェージュスクールの展望、外壁修理等について、評議員及び理事の補強について
出席等	決議に必要な理事の数 3 名、理事出席 5 名、監事出席 2 名、評議員同席 5 名

平成 25 年 2 月 1 日

・平成 24 年度第 2 回通常理事会

開催方法	通常招集
開催場所	当財団 2 階会議室
決議事項	平成 25 年度事業計画書及び収支予算書の件、理事及び評議員の推薦の件、諸規程類の改正の件
報告事項	代表理事及び業務執行理事の業務報告（2 回目）、短期国債買い入れの件、外壁改修工事の進捗について、ソルフェージュスクールの展望について
出席等	決議に必要な理事の数 3 名、理事出席 5 名、監事出席 2 名、評議員同席 5 名

平成 25 年 2 月 1 日

・平成 24 年度（第 2 回）臨時評議員会

開催方法	決議の省略による召集
開催場所	当財団 2 階会議室
決議事項	理事及び評議員の選任の件
報告事項	平成 25 年度事業計画書及び収支予算書の件、短期国債買い入れの件、外壁改修工事の進捗について、ソルフェージュスクールの展望について
出席等	決議に必要な評議員の数 3 名、評議員出席 5 名、監事出席 2 名、理事同席 5 名

平成 25 年 3 月 8 日

・平成 24 年度（第 5 回）臨時理事会

開催方法	通常招集
開催場所	当財団 3 階ホール
決議事項	平成 24 年度補正予算の件、平成 25 年度事業計画書及び収支予算書の件、諸規程類の改正の件
報告事項	平成 25 年度実施予定事業について、平成 24 年度実施完了の営繕内容について
出席等	決議に必要な理事の数 3 名、理事出席 5 名、監事出席 2 名、評議員同席 5 名

平成 25 年 3 月 8 日

・平成 24 年度（第 3 回）臨時評議員会

開催方法 決議の省略による召集

開催場所 当財団 3 階ホール

決議事項 「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」改正の件

報告事項 平成 25 年度事業計画書及び収支予算書の件、平成 24 年度補正予算の件、諸規程類の改正の件、平成 25 年度実施予定事業について、平成 24 年度実施完了の営繕内容について

出席等 決議に必要な評議員の数 3 名、評議員出席 5 名、欠席 1 名、監事出席 2 名、理事同席 5 名

2. 公益財団法人への移行及びその情報公開

平成 24 年 3 月 21 日付で公益認定を取得した当財団は、平成 24 年 4 月 1 日に移行登記を行い、公益財団法人へ移行した。

そして、平成 24 年 4 月 14 日に移行登記完了届、平成 24 年 4 月 18 日に定款 変更届、平成 24 年 4 月 26 日に理事 変更届、平成 24 年 6 月 20 日に評議員・役員変更届、平成 24 年 10 月 9 日に役員変更届、平成 25 年 2 月 5 日に評議員・役員変更届、平成 25 年 2 月 28 日に評議員・理事変更届、平成 25 年 3 月 27 日に平成 25 年度事業計画書及び収支予算書届をそれぞれ内閣府へ電子申請により提出した。また、平成 24 年 3 月に開催した理事会・評議員会の議決に基づく平成 24 年度事業計画書及び収支予算書を平成 24 年 3 月 25 日付で旧主務官庁の文部科学省へ提出した。

役員名簿、定款、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程、平成 23 年度収支 計算書・貸借対照表他、平成 23 年度事業報告書、平成 24 年度収支予算書、平成 24 年度事業計画書等を web サイトで情報公開している。

3. 業務執行体制の整備と強化

当財団は新定款により、代表理事 2 名、業務執行理事 1 名の体制となったが、これに伴い、機能的に業務を行うために運営組織の見直しを行った。これにより、役員、職員及び関係者のそれぞれの職務責任を明確にし、真摯に職務を遂行する体制を強化した。

公益財団法人ソルフェージュスクール運営組織図

(2013/04/01版)

評議員会 [評議員6名] 定数:5~10	
大橋敬三 原田牧江	加藤光俊 保倉 裕
指原建司 山崎斐雄	
監査 [監事2名]	理事会 [理事6名] 定数:3~8
大石 豊 平尾 寛	代表理事・理事長 植村泰一 代表理事・専務理事 吉村隆子 業務執行理事・常務理事 古澤裕治 理事 大村明子 中村冬木 津田弘通
<ソルフェージュスクールの運営>	
運営委員会	
植村泰一(理事長) 吉村隆子(専務理事) 古澤裕治(常務理事) 津田弘通(理事)	
[参考人] 委員長が出席を求める [事務担当者] 田中純子	
<ソルフェージュスクール>	
統轄責任者=理事長 植村泰一	
【事務局】 総務責任者=専務理事 吉村隆子 (経理責任者を兼務)	
公益目的事業及び管理業務の執行 ソルフェージュスクールの音楽教育指導要領の作成管理	
<p style="text-align: center;">【管理部】</p> <p style="text-align: center;"><法人管理事務> 公益財団法人の管理業務</p> <p style="text-align: center;">管理事務責任者 (田中純子)</p> <p style="text-align: center;">会計責任者 (山根規矩子)</p> <p style="text-align: center;">事務員 (栗野梅乃)</p>	<p style="text-align: center;">【事業部】</p> <p style="text-align: center;"><事業運営事務></p> <p style="text-align: center;">業務責任者=常務理事 古澤裕治 研究発表会、講習会、音楽会等の実務</p> <p style="text-align: center;">講師 (糸井みちよ 江原陽子 大村明子 込山今日子 妹尾美紀子 林さち子 林徹也 古澤裕治 水野紀子 山崎孝子 横井彩 吉村隆子)アイウエオ順</p> <p style="text-align: center;">受付事務責任者(川村輝子) 事務員(今村明子)</p> <hr/> <p style="text-align: center;">後援会運営委員会</p> <p style="text-align: center;"><ソルフェージュスクール後援会の運営></p> <p style="text-align: center;">【委員長】 古澤裕治 【副委員長】 吉村隆子 [事務担当者] (川村輝子)</p> <hr/> <p style="text-align: center;">後援会の役員会</p> <p style="text-align: center;">後援会運営委員会が運営 役員は総会で承認</p> <hr/> <p style="text-align: center;">(会長1名) 根岸幸子 (副会長2名) 大塚典子 坂本多佳子 (書記2名) 佐藤由希子 高橋理由美 (会計2名) 岩岡早苗 吉田仁美 (会計監査2名) 大場里江 吉本菜穂子</p>

平成 24 年度事業報告

平成 24 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 25 年 6 月

公益財団法人ソルフェージュスクール